

筆記試験による修了評価の方法

評価方法及び合格基準	1 出題範囲 ・「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から 「(9) こころとからだのしくみと生活支援技術」までとする。 2 出題形式 ・四肢択一形式とする。 3 出題数 ・四肢択一問題 15 問 全問正解：100 点満点 4 合否判定基準 ・70 点以上 5 不合格になったときの取扱い ・不合格者には、補習のうえ再評価を行う。 - なお、再評価に係る合格基準は7割以上とし、補習料・再評価料は無料とする。
------------	---

演習科目の修了評価の方法

評価方法	(9)「こころとからだのしくみと生活支援技術」において実技修了評価を実施する。 評価ポイント10ポイントのうち7ポイント以上を合格とする。
評価者	(9)「こころとからだのしくみと生活支援技術」担当講師が行う。
再履修等の基準	合格点に達しなかった場合は別途補講・修了評価日を設ける。